

(地理歴史) 授業計画表

教科名	科目名	単位数	学年・講座	教科書名(発行所)
地理歴史	日本史探究	3	3年1組I型(選)	詳説 日本史 (山川出版)
学習のアドバイス	1 歴史的事象について、「なぜそうなったのか?」「なぜそうする必要があったか?」などの疑問を持ち、自ら問い合わせ立てて考察し、結論を導き出す姿勢を大切にしよう。 2 立てた問い合わせの結論を導き出すための考察や分析に必要な知識や情報を自ら収集する積極性・主体性を大切にしよう。 3 学習内容はしっかりと復習するようにしよう。 4 日本と世界との関わり、世界各地の同時代史を意識しよう。			
評価の観点・評価方法	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史について、地理的条件や世界の歴史との関わりに留意しながら総合的に理解する。 我が国歴史を総合的に理解するために必要な知識や情報を適切かつ効果的に収集してまとめている。 		<ul style="list-style-type: none"> 歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時代背景や推移、相互の関連性と現在とのつながりなどに留意して多面的多角的に考察する。 歴史における課題を把握して解決策を考察し、結論を導き出すとともに他者に説明し、それを基に議論している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国家・社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究しようとしている。
上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題への取組の様子等を総合的に判断して評価を行う。				
授業内容	時数	学習のポイント		
第9章 幕藩体制の成立と展開	9	○幕藩体制や政治・外交秩序などの形成過程や仕組みとその影響を、国内外の情勢に留意しながら理解する。 ○人々の生活や生産・経済活動の様子を時代背景に留意しながら理解する。		
第10章 幕藩体制の動搖 <中間考査>	12	○幕藩体制のひずみや矛盾を、体制の維持を図る諸改革や人々がおかれた状況、国外情勢の変化に留意しながら理解する。 ○江戸時代の文化を、時代背景に留意しながら理解する。		
学年第IV部 近代・現代 第11章 近世から近代へ	5	○幕末の混乱から新政府の成立について、国際情勢の変化や朝廷・幕府・諸藩の狙いや思惑に留意しながら理解する。		
期 第12章 近代国家の成立	9	○西洋諸国を模範とした新政府の諸政策とその影響について、国際情勢を含む時代背景に留意しながら理解する。		
第13章 近代国家の展開 <期末考査>	5	○西洋列強や東アジア諸国との関連に着目して、19世紀末から20世紀初めの日本を理解する。		

二 学 期	第14章 近代産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 <中間考査>	6	○第一次世界大戦後の国際秩序の形成と日本の協調外交に着目して理解する。
		9	○明治時代の諸産業や文化の展開について、その影響や人々の暮らしの変化に留意しながら理解する。
		16	○日中戦争・太平洋戦争にいたる経緯と戦争の経過について、国際情勢の変化や国内の政治・経済・国民生活に留意しながら理解する。
		9	○戦後日本の復興について、政治・経済・社会・文化・国民生活等多方面から理解する。
	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 <期末考査>	5	○日本の独立回復とその影響について、国際情勢や国内政治体制の動向に留意しながら理解する。
	第18章 激動する世界と日本 <学年末考査>	8	○日本の高度経済成長について、政治・経済・国際社会などの時代背景に留意しながら理解する。 ○現代の日本政治・経済の動向や在り方と課題等について、激動する国際社会との関わりに留意しながら理解する。
	家庭学習	12	
	総 時 間 数	105	